



名誉賞を受賞した上山さんの出品牛「もみじ号」

盛岡北部畜産共進会 黒毛和種の部 経産 上山秀司さんが名誉賞

第25回盛岡北部畜産共進会が6月27日、JA新しいわて種子センター（岩手町）で開催され、本町のほか盛岡市玉山地域、岩手町から黒毛和種66頭、日本短角種18頭、計84頭が出品されました。

本町からは黒毛和種16頭が出品。家畜改良の成果などを競い合った結果、黒毛和種の部（経産）で上山秀司さん（吉ヶ沢）の出品牛「もみじ号」が最高位にあたる名誉賞に輝きました。

▶本町の金賞受賞者（★は名誉賞、敬称略）
3類・未經産：外山昭弘（上外川） 4類・経産：常谷昭則（市部内） 5類・経産：上山秀司（吉ヶ沢）★



地域課題の解決に向けて話し合う生徒たち

SDGs de 地方創生カードゲーム 持続可能なまちづくりを考える

総合的な探究の時間の一環として「SDGs de 地方創生カードゲーム」が6月17日、葛巻高校の1、2年生を対象に実施されました。

生徒たちはゲームを通じてSDGsの理念や地域課題について学び、地域づくりに必要な視点や協力することの大切さを体験しました。山下悠翔さん（1年）は「ゲームを通じて人口減少対策に取り組むことは簡単なことではないと感じた。今日学んだことを、今後の探究活動に生かしたい」と振り返りました。

月3万円のわたしごとが開催 「やってみたい」をカタチに

町起業家育成支援事業「月3万円のわたしごと」が7月5日、旧遠藤邸で開催され、町内外から10人が第6期生として参加しました。

第1回目のこの日は、ビジョンマップの作成に取り組み、自身の考えや願いを見つめ直し、本当にやりたいことを実現するための一歩を踏み出しました。参加した鳩岡みどりさん（四日市）は「いろいろな人のアイデアを取り入れたいと思い参加した。不安もありますが、これからは楽しみ」と期待を寄せていました。



仲間とコミュニケーションを取りながら活動する参加者たち

親子などへ啓発活動 明るい社会の構築に期待

社会を明るくする運動・人権擁護啓発活動が6月20日、町総合運動公園で行われました。

この日は保護司や更生保護女性の会、人権擁護委員ら関係者13人が、同日開催の青少年健全育成ミニサッカー大会の参加者に、明るい社会の実現を呼び掛ける啓発グッズを配布。子どもから大人まで更生保護や人権擁護に関心を寄せる機会となりました。町更生保護推進協議会の丹内勉会長は「多くの人が理解を深められる活動を続けていきたい」と意欲を見せました。



大会参加者に啓発グッズを手渡す関係者の皆さん



交付金を受け取る星野紘希さん・陽明子さん夫婦

子育て・新婚・定住を応援 暮らしを支える多彩な支援

出産祝金・新婚ライフサポート金および定住奨励金交付式が7月14日、くずま〜るで行われ、鈴木重男町長から5組の対象者に交付金が手渡されました。

鈴木町長は「他の市町村に劣らない新しい施策である。皆さんからも積極的に制度の情報発信をしていただきたい」とあいさつしました。交付を受けた星野紘希さん・陽明子さん夫婦（星野）は「交付金を活用し、2人で楽しく生活していきたい」と笑顔で話しました。



先着300食で振る舞われたへっちょこだんごを食べる来場者

まちなか新緑まつり 雨の降る中にぎわい溢れる

まちなか新緑まつりが6月21日、JRバス葛巻駅構内で行われ、約330人が来場しました。

この日はあいにくの雨模様にもかかわらず、多くの来場者が訪れ、屋台村は買い物を楽しむ人々でにぎわいました。中でも無料で振る舞われたへっちょこだんごは、温かい郷土の味として人気を集めました。ステージでは500グラムのへっちょこだんご早食い大会が行われたほか、小西礼子さんと花見流加寿美会が歌や踊りを披露し、会場は大いに盛り上がりを見せました。